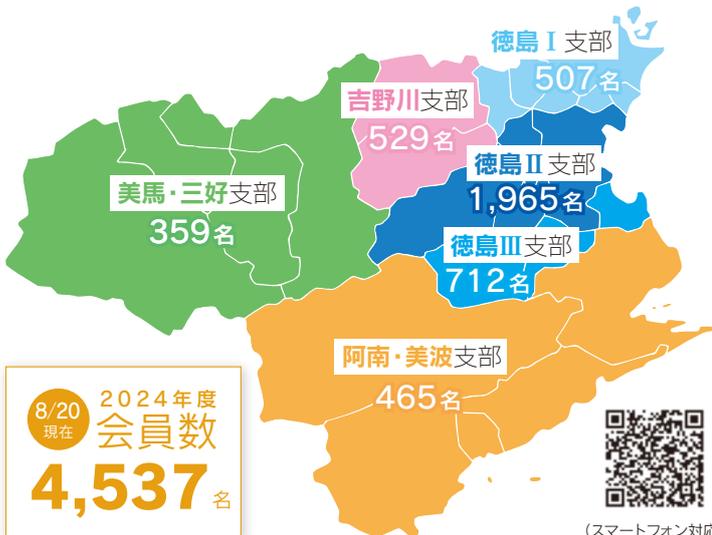


No.  
109



表紙 写真提供 緒方静子様



(スマートフォン対応)

■ CONTENTS

会長挨拶	2
春の叙勲および表彰	2
令和6年度 徳島県看護協会通常総会	3
2024(令和6)年度 役員・委員名簿	3
令和6年度 日本看護協会通常総会	5
令和6年度 全国職能別交流集会	5
災害支援～これまでの学びそして次に備える～	6
ナースセンターだより	8
看護職員UIターン支援事業	8
令和6年度徳島県看護協会通常総会質疑応答	9
第40回 徳島県看護学会	9
「つどい2024」を開催して	9
私の趣味	10
ワンポイントアドバイスNo.52	10
編集後記	10

# 会長挨拶

会員の皆様、日頃は公益社団法人徳島県看護協会の運営におきまして、多大なご協力をいただき、誠にありがとうございます。

去る6月1日令和6年度通常総会を無事に終えることができましたこと、深く感謝申し上げます。

本年1月1日能登半島地震が発生し、徳島県看護協会からも、JMATの一員として災害支援に行っていました。昨年度より災害支援ナースの養成研修が新しくなり、70名の方が研修を修了されました。今後の自然災害や感染症流行に備え、災害支援ナース養成は非常に重要な事業であると考えております。今後も多くの皆様に、災害支援ナース養成研修を受講していただければと思います。

2024年は、6年に一度の診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等のトリプル報酬改定が行われました。医療・介護人材を確保する観点から、処遇改善を重視した改定率になっており、全ての看護職への処遇改善として、ベースアップ評価料が新設されました。

さらに、第8次徳島県保健医療計画が策定され、県の方向性が示されました。徳島県看護協会としても、県民の皆様のニーズに応える看護を提供し、行政や他団体、地域と連携し、役割を発揮していきたいと考えています。

徳島県看護協会の円滑な事業推進と安定した運営を実現していくためには、更なる会員拡大が必要です。できるだけ多くの看護職の皆様に会員となっていただけるよう、協会活動の魅力を発信していきたいと思っております。会員の皆様には、一層のご理解、ご支援、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



会長 森 恭子

## 春の叙勲 および 表彰



瑞宝単光章  
松崎 和代 様

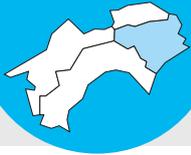


徳島県知事表彰  
久次米 清子 様



日本看護協会会長表彰  
稲井 芳枝 様

令和6年度



公益社団法人 徳島県看護協会

# 通常総会開催

令和6年

日時 6月1日(土) 9:30~12:00

公益社団法人徳島県看護協会通常総会を令和6年6月1日(土)、徳島大学大塚講堂で開催しました。  
 今年度も会員の皆様に会場に参集いただき総会を開催することができました。7名の来賓の方々をお招きし、参加者は一般参加者を含めた222名、委任状3,415名、計3,637名となりました。議決事項の第一号議案、令和5年度決算報告(案)及び監査報告、第二号議案、令和6年度役員及び推薦委員の改選並びに令和7年度日本看護協会代議員・予備代議員の選出について(案)説明があり、承認を得ました。報告事項の令和5年度事業報告、令和6年度重点事業並びに事業計画、令和6年度資金収支予算及び収支予算について報告、協議され、議決事項はすべて承認されました。

## 令和6年度

### 重点目標

- 1 全世代型地域包括ケアシステムにおける看護機能の強化
- 2 看護の質向上のための生涯教育の充実
- 3 看護職確保及び働き続けられる勤務環境の改善
- 4 災害や感染症などの健康危機管理体制の強化
- 5 本会の目的を達成するための基盤強化

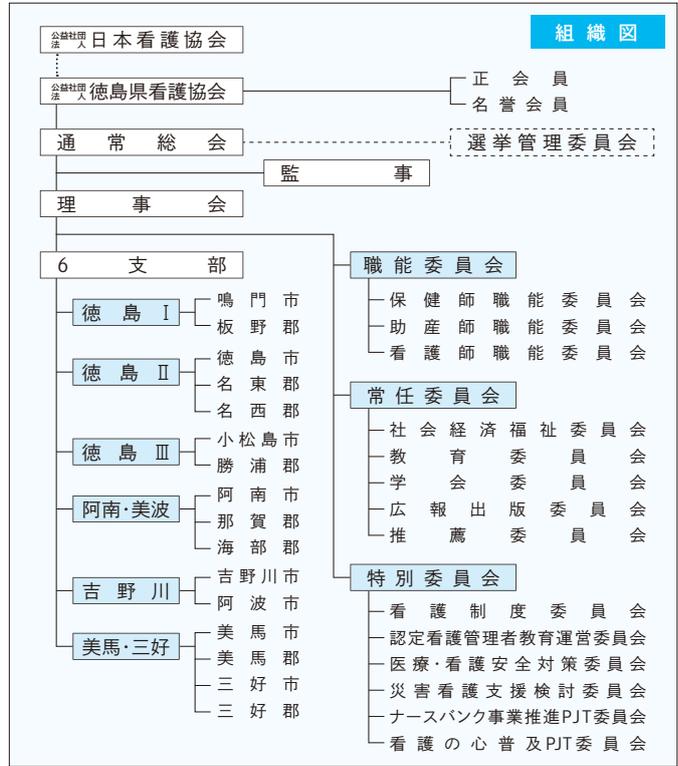
### 議案

- 第一号議案 令和5年度決算報告(案)及び監査報告  
 第二号議案 令和6年度役員及び推薦委員の改選並びに令和7年度日本看護協会代議員・予備代議員の選出について(案)

## 令和7年度

### 日本看護協会通常総会代議員・予備代議員候補者

職種	代議員	予備代議員1	予備代議員2
保健師	浦西 由美	岡久 玲子	横山 敦子
助産師	森内 洋美	知野 広美	橋本 美歩
看護師I	宮本 美恵	戸田 伴江	岩本 真理
看護師II	藤原都志子	辻 敬子	富樫 和代
准看護師	日岡 真代	高城 晴美	



## 2024 (令和6) 年度

### 役員

役職・職能	氏名	担当委員会名	勤務先
会長	看・森 恭子		公益社団法人徳島県看護協会
第一副会長	助 鈴記 洋子	職能活動総括・学会担当	公益社団法人徳島県看護協会
第二副会長	看・三木 真澄	支部活動総括・認定看護管理者教育運営委員会・看護制度委員会	徳島県厚生農業協同組合連合会
専務理事	保 横山 敦子	災害看護支援検討委員会・ナースバンク事業推進プロジェクトチーム委員会・看護の心普及プロジェクトチーム委員会	公益社団法人徳島県看護協会
常任理事	看・鈴木 察子	医療・看護安全対策委員会	公益社団法人徳島県看護協会
理事	保 浦西 由美	保健師職能委員長	徳島県東部保健福祉局(徳島保健所)
	助 森内 洋美	助産師職能委員長	徳島大学病院
	看 宮本 美恵	看護師職能委員長	徳島県立中央病院
	看 中井 幾美	徳島Ⅰ支部長	徳島県鳴門病院
	看 谷崎 宏美	徳島Ⅱ支部長	徳島市民病院
	看 庄野 まゆみ	徳島Ⅲ支部長	徳島赤十字病院
	看 舘 美加	阿南・美波支部長	JA徳島厚生連阿南医療センター
	看 西村 久美子	吉野川支部長	JA徳島厚生連阿波病院
	看 岸本 小百合	美馬・三好支部長	徳島県立三好病院
	看 佐藤 晴久	広報出版委員会	藍里病院
	保 山下 留理子	教育委員会	徳島大学大学院医歯薬学研究所
	監事	看 隅田 優子	社会経済福祉委員会
准 武田 美和		看護制度委員会	小松島病院
外部 孝志 洋平			さくら税理士法人
看 美馬 敦美			徳島県鳴門病院

### 職能委員

氏名	勤務先
浦西 由美	徳島県東部保健福祉局(徳島保健所)
岡久 玲子	徳島大学大学院医歯薬学研究部
榊原 陽子	徳島県南部総合県民局保健福祉環境部(阿南保健所)
村橋 丈彦	鳴門市健康福祉部長寿介護課
原 美智代	徳島県西部総合県民局保健福祉環境部(美馬保健所)
加治 明子	徳島県東部保健福祉局(徳島保健所)
森内 洋美	徳島大学病院
伊丹 恵美	JA徳島厚生連阿南医療センター
山田 良恵	つるぎ町立半田病院
橋本 美歩	徳島県立中央病院
富士本 里美	JA徳島厚生連吉野川医療センター
竹田 紀子	徳島赤十字病院
村井 芳江	徳島市民病院
元木 沙耶花	徳島県鳴門病院
宮本 美恵	徳島県立中央病院
大西 由香	藍里病院
細川 千恵美	たまき青空病院
岩本 真理	徳島赤十字病院
切佐 古幸代	徳島県立三好病院
辻 敬子	きたしま田岡病院
戸田 伴江	徳島市民病院
常陸 多佳子	国立病院機構とくしま医療センター西病院
藤原 都志子	徳島県看護協会複合型ナースバンク事業所あい
横関 恵美子	四国大学看護学部

・印の理事はR5、R6年度任期

・印の方はR5、R6年度任期

常任委員

職能	氏名	勤務先
社会経済福祉委員会	保 岩田美枝	徳島県東部保健福祉局(吉野川保健所)
	保 椿 奈々	徳島県南部総合県民局保健福祉環境部(阿南保健所)
	助 坂東美穂	つるぎ町立半田病院
	看 井内裕子	亀井病院
	看 廣瀬江美	J A 徳島厚生連吉野川医療センター
	看 森本美香	徳島赤十字ひのみね医療療育センター
教育委員会	保 海老名 和	徳島県東部保健福祉局(徳島保健所)
	保 川端友美	徳島県西部総合県民局保健福祉環境部(美馬保健所)
	助 坂口朋枝	J A 徳島厚生連吉野川医療センター
	助 新居アユ子	四国大学看護学部
	看 岩佐武彦	徳島県立中央病院
	看 櫻本幸代	徳島赤十字病院
	看 富野静香	独)国立病院機構とくしま医療センター東病院
	看 久次米陽子	徳島県立総合看護学校
	看 細川美香	徳島大学病院
	看 國見法子	徳島市民病院
	看 戸田己記	川島病院
	看 橋本浩子	徳島大学大学院医歯薬学研究所
	看 小川恵美	J A 徳島厚生連阿南医療センター
	看 前川涼子	徳島赤十字ひのみね医療療育センター
学会委員会	看 山岡真由美	徳島県鳴門病院
	看 山元明美	T A O K A こころの医療センター
	保 辻 輝美	徳島県東部保健福祉局(徳島保健所)
	助 川下美紀	徳島大学病院
	助 山田健代	徳島文理大学保健福祉学部
	看 折野早苗	独)国立病院機構とくしま医療センター東病院
広報紙発行・ホームページ	看 蔭山綾子	J A 徳島厚生連阿南医療センター
	看 飯藤大和	徳島大学大学院医歯薬学研究所
	看 福田ひろみ	徳島赤十字病院
	保 湯浅香苗	徳島県東部保健福祉局(徳島保健所)
	保 多田美由貴	徳島大学大学院医歯薬学研究所
	助 石見依里	徳島県立中央病院
推薦委員会	看 室屋昌美	徳島県立三好病院
	看 笠松香奈	J A 徳島厚生連阿南医療センター
	看 角田匡弘	独)国立病院機構とくしま医療センター東病院
	看 増田恵里	徳島市民病院
	看 米田泰代	徳島赤十字病院
	保 三ツ川恵美子	徳島県中央こども女性相談センター
	保 前田恵美	徳島県東部保健福祉局(吉野川保健所)
	助 大下安由美	徳島県立海部病院
	助 三木香織	徳島大学病院
	看 岩井久代	徳島市民病院
看 滝下優子	徳島県鳴門病院	
看 佐藤敏恵	徳島県立中央病院	
看 高部麻由実	J A 徳島厚生連吉野川医療センター	
看 木村祐紀	徳島県立三好病院	
看 高橋紀子	徳島赤十字病院	

6支部

支部名	支部長名	勤務先
美馬・三好支部	岸本小百合	徳島県立三好病院
吉野川支部	西村久美子	J A 徳島厚生連阿波病院
徳島支部Ⅰ	中井幾美	徳島県鳴門病院
徳島支部Ⅱ	谷崎宏美	徳島市民病院
徳島支部Ⅲ	庄野まゆみ	徳島赤十字病院
阿南・美波支部	舘美加	J A 徳島厚生連阿南医療センター

・印の方はR5、R6年度任期

特別委員

職能	氏名	勤務先		
看護制度委員会	保 多田和代	徳島県保健福祉部医療政策課		
	看 藍原美鈴	徳島県立総合看護学校		
	看 阿部純子	きたしま田岡病院		
	看 奥谷恵子	徳島県鳴門病院附属看護専門学校		
	看 森 数江	J A 徳島厚生連阿南医療センター		
	看 三木真澄	徳島県厚生農業協同組合連合会		
	看 村上王夫	藍里病院		
	准 武田美和	小松島病院		
	認定看護管理者教育運営委員会	看 岩本尚美	徳島県立中央病院	
		看 庄野まゆみ	徳島赤十字病院	
		看 高開登茂子	徳島文理大学保健福祉学部	
		看 中野あけみ	徳島大学病院	
		看 三木真澄	徳島県厚生農業協同組合連合会	
		看 折村秀美	田岡病院	
看 喜来浩美		徳島県鳴門病院		
看 山田真裕美		徳島県看護協会		
看 鈴木察子		徳島県看護協会		
看 大坂朱美		徳島大学病院		
看 坂田 司		徳島赤十字病院		
看 中野敦子		J A 徳島厚生連阿南医療センター		
看 瀬尾佐和子		徳島市民病院		
看 正木典子		徳島県鳴門病院		
医療・看護安全対策委員会	看 濱川みさこ	徳島県立海部病院		
	看 家形美千代	徳島県立中央病院		
	保 阿部未菜実	徳島県保健福祉部医療政策課		
	保 上白川沙織	徳島大学大学院医歯薬学研究所		
	保 横山敦子	徳島県看護協会		
	看 逢坂めぐみ	徳島県立総合看護学校		
	看 大西須真子	J A 徳島厚生連吉野川医療センター		
	看 桑村直美	J A 徳島厚生連阿南医療センター		
	看 上野妃呂子	つるぎ町立半田病院		
	看 川西誠子	徳島赤十字病院		
	看 山下千花	徳島市民病院		
	保 多田和代	徳島県保健福祉部医療政策課		
	保 横山敦子	徳島県看護協会		
	助 中野和美	徳島県立総合看護学校		
看 石川早由里	J A 徳島厚生連阿南医療センター			
看 近藤幸子	むつみホスピタル			
看 藤田都慕	川島病院			
看 高岡正和	岩朝病院			
看 本庄和美	J A 徳島厚生連阿波病院			
災害看護支援検討委員会	保 阿部未菜実	徳島県保健福祉部医療政策課		
	保 横山敦子	徳島県看護協会		
	看 勝瀬昌代	徳島県立海部病院		
	看 岸本小百合	徳島県立三好病院		
	看 黄田千佳	つるぎ町立半田病院		
	看 中井幾美	徳島県鳴門病院		
	看 庄野まゆみ	徳島赤十字病院		
	看 本庄和美	J A 徳島厚生連阿波病院		
	看 谷崎宏美	徳島市民病院		
	看 舘美加	J A 徳島厚生連阿南医療センター		
	ナース・事務推進・ロジスティクス人委員会	看 舘美加	J A 徳島厚生連阿南医療センター	
		看護の心普及プロジェクトチーム委員会	看 舘美加	J A 徳島厚生連阿南医療センター

令和6年度



# 日本看護協会 通常総会

令和6年 6月6日(木) 9:30~17:00

場 所 東京国際フォーラム(東京都千代田区)

令和6年度

## 公益社団法人 日本看護協会代議員

保	原 美智代	徳島県西部総合県民局 保健福祉環境部(美馬保健所)
助	森内 洋美	徳島大学病院
看	宮本 美恵	徳島県立中央病院
看	藤原都志子	公益社団法人徳島県看護協会 複合型サービス事業所あい
准	大西 由香	藍里病院

## 日本看護協会通常総会に参加して

日本看護協会は6月6日、令和6年度通常総会を東京国際フォーラム(東京都千代田区)で開催され、全国から750名の代議員が出席し、1,088名の一般参加があり活発な討議が行われました。

高橋会長の開会あいさつでは、昨年10月に改定された「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」に触れ、「看護職は専門職として、その能力を最大限に発揮し、人々の健康を支援していかなければならない。そのためには、新たな指針の示す取り組みを現場にいかし、看護職の一人ひとりがいきいきと働ける環境を整えて行く必要がある。」と力強く話されました。

議決事項の「名誉会員の推薦(案)」「2024年度改選役員及び推薦委員の選出について」と4つの報告事項が協議・報告され、議決事項はすべて承認されました。

新たな役員として、副会長に勝又浜子氏、理事に井本寛子氏、橋本美穂氏、松本珠美氏の3名、地区理事に23名、准看護師理事に2名が選出されました。

## 令和6年度 全国職能別交流集会

令和6年 6月7日(金) 10:00~15:30

### 2024年度全国保健師交流集会に参加して

保健師職能委員 原 美智代

今回、「2040年を見据えた保健師活動を地域でどう展開するか」をテーマに基調講演やシンポジウムが開催されました。私が交流集会に参加して感じたことは、社会情勢や取り組むべき健康課題が変わっても、保健師活動の“核”となるものは変わらないということです。地域で「顔の見える関係」を構築し、地域に根ざした活動を実践するのが保健師であり、保健師にしかできないことだと思っています。

若い世代に「保健師魂」を継承するのは困難ではないかと思っただけでしたが、シンポジストの新任期保健師や、保健師への応援メッセージをいただいた看護協会長の発言を聞き、「保健師魂」は確実に受け継がれていることを実感することができました。

今後、地域コミュニティ力の弱体化が進み、生活の困窮・孤立が深刻なものとなり、健康格差が拡大することが予想され、保健師に期待される役割は一層重要となると予測されます。これからの保健師は、そういった期待に応えながら地域で必要とされる活動を実践できると確信を持つことができました。

私の保健師として活動できる時間も残り少なくなってきましたが、保健師活動の楽しさを後輩たちに伝えていけたらと考えています。

### 女性とその家族の生涯に係る専門家として 役割発揮が期待されている

助産師職能委員長 森内 洋美

助産師職能委員会は、「1. 助産師の活躍推進策に検討」「2. 助産師の多様な働き方に関する意見集約・課題発見を行います。地域内の多機関で役割分担・相補することで【院内助産・助産師外来】【産科区域特定】【産後ケア事業】【地域連携】の4つの機能を維持・推進し、助産師が活動体制を構築するための方策について検討していく必要があります。そのために、女性とその家族への支援実施に向け、各施設のニーズや取り組みを明らかにすることが必要です。

また、女性の健康支援の強化において、地域や院内での健康教育などの活動の場を広げながら、兼業・副業を含む多様な働き方のための環境整備や実践能力の向上、病院所属助産師の勤務取り扱いのあり方の検討が求められています。同時に出産費用の見える化として、厚労省は『出産ナビ』を公表し、妊産婦自身が分娩施設を選択できる状況となりました。助産師としての役割発揮が大いに期待されていると同時に、助産ケア・実践の見える化が求められています。出生数の低下・分娩取扱施設の減少が進む中で、施設内外で助産師としての専門性の発揮や役割遂行ができ、全ての女性を支えるための環境を整えることを目標に活動してまいります。

### 改定された看護師等確保基本指針

看護師職能委員長 宮本 美恵

今年度の2024年度全国看護師交流集会Ⅰ 病院領域では、2023年10月に「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」について、厚生労働省や医道審議会などの基本指針改定に関わった先生方より改定の意義や、基本指針の活かし方についてのご講演がありました。また、シンポジウムでは基本方針の内容から、現場における看護職の処遇改善についての取り組みや、看護職の資質の向上のための教育、就業促進に向けた職場づくりについて紹介されました。

看護師職能委員会では、このような好事例の収集・周知に取り組みながら、タスク・シフト/シェアの推進にあたって導き出される課題を共有しています。今年度においても、病院看護管理者の管理能力についても力を入れながら、現場の情報収集について継続して取り組み、病院看護職の働き方改革を推進していくと発表されました。人口減少、働き手の不足、感染症や災害など看護の課題とすることは多々ありますが、徳島県看護協会の看護師職能委員会も、職場における問題や課題等の情報をお聞きしながら、また全国の好事例等を紹介しながら、情報を上げて参りたいと思いますのでご協力をお願いします。

### 看Ⅱ領域での看護人材確保に向けた取り組み

看護師職能委員 大西 由香

85歳以上人口が増加する2040年を迎えるにあたり、医療介護の複合的ニーズを有する在宅療養者が急増することが見込まれており、「看Ⅱ領域で活躍する質の高い看護人材確保」及び「看護職が働き続けられる環境整備」は急務となっている。この現状課題を踏まえ、看Ⅱ領域での2024年の活動方針として、「看Ⅱ領域で活躍する看護人材確保及び働き続けられる環境整備に向けた情報収集・課題発見」を主な軸とした中で、新人看護師教育プログラムや在宅領域で活躍出来る人材育成等について取り組むという報告があった。

パネルディスカッションでは、働きやすい職場づくりと人材確保をめざした実際の取り組みについて、①自己研鑽を支援する教育体制の整備(認定看護師の育成等)②「人材育成に関する調査結果」を踏まえた研修体系構築に向けた課題③プラチナナース活躍推進・看護師の生涯教育を支援する取り組みなどの発表があった。

本交流集会への参加を終え、この少子高齢多死社会に突入するにあたり、地域のニーズに継続して対応し続ける為にも、必要な経営戦略及び情報収集を図り、今後も引き続き、看Ⅱ領域の魅力発信、及び、看護人材確保に取り組む必要があることを痛感した。

保健師職能委員会

助産師職能委員会

看護師職能委員会Ⅰ

看護師職能委員会Ⅱ



# 災害支援～これまでの

## 新たな災害支援ナースについて

災害支援ナースは、令和6年4月から、災害時に加え、新興感染症発生時の応援派遣にも対応する新しい制度となりました。当会では、昨年度から新制度の災害支援ナース養成研修を開催し、現在70名の方が当会において登録（リスト化）されています。

有事の活動に関しては、主に徳島県と災害支援ナースが所属する医療機関との間で締結された派遣協定に基づき、県内外に応援派遣されることとなります。

なお、令和4年度までに旧制度で登録されている看護職の方は、令和8年3月31日までの猶予期間が設けられており、活動することが可能です。

今後も毎年、養成研修を実施しますので、災害等に備え、多くの皆様に研修を受講していただくようお願いいたします。

## 令和6年能登半島地震における徳島県保健師の災害支援活動について



徳島県保健福祉部副部長  
(総括保健師)

梅田 弥生

令和6年1月1日のお正月に発生した能登半島地震。徳島県では、厚生労働省の保健師等広域応援派遣調整により、1月8日から5月31日までの間、保健師チームを「38班、総勢125名（県保健師53名、市町村保健師23名、ロジ49名）」派遣し、石川県輪島市において支援活動を行いました。

現地での活動は、避難所の巡回相談から始まり、在宅要支援者訪問、在宅高齢者健康調査、仮設住宅の訪問、最終班では、派遣保健師撤退後の保健活動の方針やロードマップの作成等、時間経過に応じ、多岐にわたりました。そのため、現地とのLINEミーティングを実施し、情報共有と活動の継続性を図りました。今回の現地活動で一番大きな支障となったのが、長期に渡った断水です。感染症対策や避難生活のQOLの確保、支援活動を行うにも、水が出ないことがこんなにも困ることなのかと、身をもって体感したところです。この度の活動をとおして、本県が被災した際に、県外からの支援チームがスムーズに活動できるよう、県として受援体制をしっかりと構築する必要があるとの思いを強くしました。

現在、能登での経験を踏まえ、災害時における保健衛生活動マニュアルの見直しや各分野での災害時コーディネーター間の連携等、まずはできるところから取り組みを始めています。

最後に、今回の派遣に際しまして、サポートをいただいた関係者の方々へ、この場をお借りして、心よりお礼申し上げます。

## 赤十字こころのケア活動「みる・きく・つなぐ」



徳島赤十字病院  
看護部長

川西 誠子

日本赤十字社は、災害発生時に、医療救護班とこころのケア班で救護活動を行っている。令和6年2月2日から8日まで、赤十字こころのケア班として、能登半島中央にある志賀町にて活動を行った。

活動内容は地元保健師の支援として避難所を巡回し、被災者のストレス反応のスクリーニングを行うことであった。志賀町は徳島の沿岸部を思わせる風景の中、集落に入ると倒壊した家屋や陥没した道路が、地震の大きさを物語っていた。避難所では、平成19年能登半島地震を経験した方もおり、今回は年齢も重ねどうしたらいいのかと、途方に暮れる声が聞かれた。また、発災から1ヵ月が過ぎても断水は続き、先の見えない不安や憤りを訴える方も多く、共感しながら傾聴することで和らいだ表情が見られ、少しでも気持ちが落ち着くことを願いつつ避難所を巡回した。

災害時のストレス反応は時間と共に変化する。赤十字では心理的応急処置に「みる・きく・つなぐ」という行動原則がある。支援者は、被災地の方々へ寄り添い、みて、きいてニーズを把握し、様々な支援チームと情報を共有しながら次のチームにもつなぎ、切れ目のない支援をしていくことの重要性を再認識し活動を終えた。



# 学びそして次に備える～

## 災害に備える



徳島県立中央病院  
助産師

上田 千尋

### 災害時徳島県の周産期を守る、要の病院として

当院は基幹災害拠点病院です。中でも徳島県の地域周産期を支える役割を担う病院として、様々な備えを行っています。具体的には、産科処置に必要な物品を揃えた災害用持ち出しバッグの作成を行いました。災害時でも衛生面に配慮して使用できる為に、ディスプレイの器具を準備しています。また分娩時に災害が起きた時の為に、エアーストレッチャーを分娩室に完備しています。

今後は日頃から災害訓練も行い、スタッフ一人ひとりがその場でどうすべきか判断できるように備えていきたいと思っています。



社会医療法人 芳越会  
訪問看護ステーションみやの  
所長

徳丸 千里

### 被災地支援を経て思うこと

現場での被災地支援は熊本地震発災から10日ほど経過した避難所支援だけですが、避難者の健康管理、服薬管理、感染症拡大防止の環境設定、福祉避難所への移動調整など、看護師としては通常の業務と大きな違いがないと感じました。大きく違うのは、支援が必要な方の数の多さ、日々変化する状況下での変更への対応速度の速さなど、業務量でした。

災害時に看護師ができる支援の量は多大であるという経験を経て、当ステーションでは、毎月、災害時の訪問トリアージを見直し、利用者だけでなく可能な限りの地域支援ができるように備えています。



TAOKAこころの医療センター  
看護総師長

新田 かおる

### マニュアル周知と更新が大切

当院では、2024年2月18時間にわたる院内停電を経験した。23時05分停電が発生し、1時間程度で非常灯が切れ自家発電以外の明かりを失い、夜間トイレに行かれる患者さまの足元を照らすことから始めた。振り返りの会を開催し、マニュアル周知できていればそれぞれの役割分担ができ活動しやすかったのではないかと、マニュアル更新が必要であるという意見が出た。

災害の状況は様々であり、計画した内容の周知、経験を加味した内容を追加、定期的な評価と改善を継続的にを行い今後の災害に備えていきたい。



徳島県立中央病院  
看護師長

藤川 栄二

### 職員の災害対策教育としてのe-ランニングの活用

当院は、基幹災害拠点病院に指定された病院です。災害対策マニュアルやアクションカードを各部署に配布していますが、実際に手にする事が少ないのが現状です。職員の誰もが、災害発生時に初動行動が執れるよう、災害教育として各テーマに沿った災害対策e-ランニングを視聴できる環境を整えています。繰り返し視聴することで、災害対策の知識を深め、年間を通しての訓練の事前学習としても活用しています。今後も、災害対策の普及に努めていきたいと思っています。



JA徳島厚生連阿南医療センター  
看護師長

横手 美穂

### 自施設での具体的な取り組み

当院は災害拠点病院の役割を担っています。今年度の取り組みとして、災害発生時の初動対応に則ったアクションカードの作成とセカンドアクションへの取り組みを行っています。また、減災意識を高め、アクションカードを活用した災害訓練の実施を計画しています。突然の災害発生時でも安全に行動できる職員教育を目指します。

📺 📞 🩺 🐸 **ナースセンターだより** 📺 📞 🏥

**5月12日「看護の日」イベントを開催しました!**

今年度は、「看護職になるための説明会も同時開催とし、午前・午後の2部制で123名の高校生が参加してくれました。

看護師になりたいという思いが強くなったイベントでした。とても楽しく、話もためになりました

看護師になりたいという思いが強くなった

看護の仕事について知れたり、体験ができてよかったです

**看護職になるための説明会**

- ★「魅力ある看護の道へ」看護職の仕事・やりがい・進路方法等  
講師 阿波病院看護部長 西村 久美子 さん
- ★「現役看護職からのメッセージ」  
午前 阿南医療センター 北條 春奈 さん  
午後 徳島市民病院 吉田 賢斗 さん
- ★「県内看護師等養成所の紹介と個人相談」

**看護技術体験コーナー**

- 1 採血
  - 2 筋肉注射
  - 3 正しい手洗い
  - 4 AED (心肺蘇生)
  - 5 血圧測定・経皮的酸素飽和度測定
- 

**5月16日「看護の日・看護週間」PRバスがやってきました!**

かんどちゃんと徳島県のマスコットすだちくんアンバサダーを務めてもらい、看護の日イベントとコラボしました。

PRバス前で記念撮影

10:30 来を見つけにいこう

11:30 出発式

13:00 まちの保健室

15:30 鳴門病院

鳴門高校阿波踊り部

鴨島病院

阿波病院(アワーズ)

PRバス動画はこちら

看護職員就業確保支援事業

**看護職員Uターン支援事業**

徳島県看護協会では看護職員の人材確保のため「看護職員Uターン支援事業」を進めています。そこで、徳島にUターン・Iターンで移住され頑張っている方々をご紹介します。



- 田岡病院 古田 麻実子 さん
- 吉野川医療センター 中山 智資 さん
- むつみホスピタル 石神 怜加 さん
- 稲次病院 河村 真弥 さん

徳島県看護協会のホームページより動画をご覧ください。(下記のQRコードからもご覧いただけます)

今年度も、移住者の活躍をご紹介します企画を準備しています。ホームページからの公募をお見逃しなく、お申し込みをお願いいたします。



**「四国とくしまで頑張るナースたち」**  
～仕事と生活のバランスを求めて移住～



<https://www.youtube.com/watch?v=lj3Tbi9xfJo>

令和6年度徳島県看護協会通常総会質疑応答

## 公益社団法人徳島県看護協会通常総会における質問についてのご説明

6月1日(土)に開催いたしました通常総会において、研修を受講していただく際の諸経費の徴収についての質問がありました。会員の皆様にご理解ご協力をお願いする必要があることから、詳細についてご説明させていただきます。

### 質問1 研修受講料の改定、増額になった理由を教えてください。

**回答** 以前は研修受講料の支払いが郵便局振込みのみであり、会員の皆様からより利便性のある、クレジット決済などを希望される声が多かったことや、受講生の皆様の研修管理がしやすいことから、全国的に多く使われている研修システム (manaable) を導入いたしました。そのため、システム利用料やクレジット等の決済代行料を協会から支出することになったことが、料金改定の主な要因です。

このほか、諸物価高騰への対応や、3階研修室の空調設備をはじめとする研修環境の改善を図るための経費も一部含んでいます。

これらの経費は、研修を受講していただくに際して、必要なものであるとの考えのもと、理事会のご承認をいただき、受講料に加えて徴収させていただくこととなりました。

### 質問2 報告事項4の令和6年度収支予算について、研修システム (manaable) 導入に伴い、諸経費として、1,000円が徴収されるが、受講料収入は前年度と同額になっている。どのような処理になっているのか。

**回答** 受講料と諸経費を別々に徴収する研修については、「雑収入」として計上し、受講料に含めて徴収する研修については、受講料として計上することとしております。次年度からは研修案内(教育研修計画)において、「諸経費を含む」ということを明記させていただくことといたします。

なお、令和6年度受講料収入については、諸経費を徴収することとなった初年度であり、実績が不明であるため、一旦、前年度と同額予算としております。

## 第40回 徳島県看護学会

お知らせ

2024年12月14日(土) [会場 徳島大学 大塚講堂] にて開催いたします。

インフォメーションブース [広報活動、他学会での発表掲示(発表者選択による質疑応答あり)]、研究相談コーナー [1組30分、6組まで、事前予約制] を企画しております。

事前申込みを開始しております。

詳しくは、ホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。



## 「つどい2024」を開催して

昨年度に引き続き、令和6年2月3日(土)にJRホテルクレメントでつどいを開催しました。この会は職場の垣根を越え、看護職同士の繋がりを深め、日頃の疲れを癒やし、今後の活力にさせていただくことを目的に開催しています。

参加者は69名で、当日は看護協会の各担当からの事業紹介の後、参加者全員でドライフラワーを使ったフラワーアレンジメントや景品付きのクイズなどを行い、和やかな時間を過ごしました。

今回は、非会員の方にも参加していただき、協会事業を知っていただくとともに、看護職間の交流を深めることもできました。今後も、このような機会を通して、皆様のご意見等をお伺いし、協会活動の活性化に取り組んでまいります。



# 私の趣味



社会医療法人あいごと会藍里病院  
三笠 優樹

## ～ 一步一步着実に～

CNSになるという目標を叶えるため私は看護師を離職し、大学院の修士課程に進学しました。そして学生のうちに何か取柄が欲しいと思いボクシングジムに入会し1年間の練習を経てプロボクサーになりました。集中力やタイムマネジメントが勉学にも活かされ卒業後に精神看護学領域のCNSの認定審査を受け合格しました。

今後も環境面の配慮や、協力をしてくれる周りへの感謝をもちながら初心を忘れず地道にステップアップしていきたいです。



医療安全対策

No.52

## ワンポイントアドバイス

エスパー

# SBAR を用いて報告しよう!

〈状況が正確に伝わるように 状況→背景→評価→提案 という順番で連絡を取る方法です〉

状況

Situation

S

◆患者に何が起きているのか

〈例〉10階北病棟の整形の〇〇さんが急変です。意識レベル低下と右片麻痺が出現しています。

背景

Background

B

◆患者の臨床的背景・状況は何か

〈例〉昼食時には異常はありませんでしたが、〇〇時に訪室した際に症状が出現していました。

評価

Assessment

A

◆私が考える問題は何か

〈例〉脳卒中を疑っています。緊急でMRI検査が必要ではないかと思います。

提案

Recommendation

R

◆私の提案はこれ!

〈例〉緊急性が高いと思いますので先生すぐに病棟に来ていただけますか?



必要な情報を漏れなく伝えることができる

迅速な対応が必要な状況で、患者情報を簡潔に伝達するテクニック



整理された情報を受け取ることができ、理解しやすくなる

## 編集後記

協会ニュース「和」の発行にあたりご協力いただいた皆様ありがとうございました。今後も皆様が身近に感じる話題を提供してまいりますのでよろしくお願いいたします。  
(広報出版委員一同)



写真提供 森山節子様